

考え、話し、**変われる日本へ。** だれひとり**取り残さない**

立憲民主党
埼玉県第1区総支部長
衆議院議員

たけまさ 公一



令和7年度予算案が修正(29年ぶり)

高校授業料無償化、高額療養費上限据え置き、給食無償化(小学校のみR8~)

通常国会報告その1 政府予算案修正なる

3月4日、衆議院で政府の修正された予算案が可決し、参議院に送付されました。2月14日、立憲民主党がまとめた予算修正案(表1)からは、「高校生の授業料無償化(1064億円)」「高額療養費の上限の引き上げを一部止める(55億円)」が実現しました。

表1

ガソリン・軽油価格の引き下げ	1兆4,999億円
学校給食無償化	4,900億円
高校無償化の拡充	3,709億円
介護・障害福祉従事者処遇改善	4,225億円
訪問介護事業者緊急支援	357億円
保育士・幼稚園教員処遇改善	1,488億円
「130万円のガケ」対策	7,800億円
中小企業の社会保険料負担軽減	257億円
高額療養費の自己負担上限の引き上げの凍結	200億円

ただし、ガソリンの暫定税率廃止(約1.5兆円)は法案提出しましたが実現しませんでした。必要です。

また、物価高騰の原因として円安是正が必要です。

2月13日の代表質問で私から石破総理に「2013年に政府と日本銀行が交わした共同声明(アコード)にある物価上昇率2%まで金融緩和を続ける」の見直しを求めましたが石破総理から否定されました。引き続き求めます。

また、「130万円のガケ(壁)」対策は講じられませんでした。「130万円のガケ」とは、年収130万円を超えると社会保険料の負担が生じることで「働き控え」につながっていることから、社会保険料の負担を軽減するため、年収200万円まで補助金を支給する内容です。

市町村では、国民健康保険料のことを国民健康保険税と呼んでいるところが全国の市町村の85%あります。さいたま市もその一つです。国民の皆様には、社会保険料も税

金と同様の負担となっているわかりやすい例です。

衆議院議員選挙では、立憲民主党は中小企業の法定福利費(経営者負担分)の軽減を求めています。引き続き、社会保障と税の一体改革第2弾を求めてゆきます。

その2 日米首脳会談代表質問

2月13日、衆議院本会議で立憲民主党を代表して「総理大臣の帰国報告」への質疑に立ちました。本会議質問は2015年以来10年ぶりになります。

2月9日は、2017年以来NHK日曜討論に出演しました。前夜、日米首脳会談から帰国した石破総理の後に、各党代表者の討論としてです。

代表質問では、日米同盟が「自由で開かれたインド太平洋の礎」として、対中国、対北朝鮮などへの多国間の枠組みを確認されたことを私から評価しました。そして、

- ①尖閣諸島に日米安保条約5条適用について
- ②「法の支配」は確認できたか
- ③次期5か年防衛予算増額を約束したのではないか
- ④日米自動車関税交渉を再開するべき
- ⑤アラスカLNG開発に政府は支出するのか
- ⑥円安是正に日本銀行とのアコード見直しが必要では
- ⑦国際機関拠出金は当初予算に計上を、支払いは外為特会で
- ⑧パリ協定離脱、WHO脱退に対し国際協調を求めたか
- ⑨鉄鋼、アルミ関税には非関税化を申し入れたか
- ⑩「USスチール過半数出資認めない」と発言はあったのか
- ⑪「北朝鮮は核保有国」との発言の真意を確認したか
- ⑫拉致問題解決について、日本は何ができるかと説明したのか
- ⑬中東和平は「2国家解決」という日本の立場は伝えたか
- ⑭核兵器禁止条約について言及したか、大統領訪日時には被爆地に訪問要請は
- ⑮日米地位協定改定について、日米合同委員会議事録公開を、米軍綱紀粛正を
- ⑯米中関係への関与は、と取り上げました。

石破総理が、言うべきこと聞くべきことを「トランプ大統領に言わなかった」「トランプ大統領から聞いていなかった」との答えには「課題が残った」日米首脳会談であったと私から締めくくりました。

その3 予算案審議

令和7年度予算案審議では、地方議会では当たり前の予算案の個別審査が省庁別に初めて3日間行われました。外務省は2月6日に行われ、私が質問に立ちました。1月23日に始まった立憲民主党「本気で歳出改革」作業チームでは、外務省予算の「ジャパンハウス」がその効果が疑問視されていたので、それを取り上げました。ジャパンハウスは安倍内閣で始まり海外に3か所の拠点がありますが、国際交流基金が持つ26か所の拠点の1か所あたりの10倍以上の予算を要しているの、国際交流基金に運営を任せるべきと求めました。

加えて、国際機関への拠出金、分担金を補正予算で毎年2000億円近く計上するのを当初予算に計上すること、並びに外為特会の外貨で支払うことで為替変動のリスクを回避できることを取り上げました。

他省庁も含めた省庁別審議を通じて、立憲民主党は約3兆8000億円の財源ねん出（1兆7878億円：「3年ルール」を逸脱した「積みすぎ」基金の一部活用、5000億円：突然増えた「一般予備費」の減額、5000億円：経済産業省所管基金の一部返納、など）により表1のような予算修正案を2月14日公表し、与党との修正協議を行い、結果、予備費は2500億円減額となりました。

国会見学会のご案内

- ✓ 4月15日(火)
- ✓ 5月14日(水)
- ✓ 6月13日(金)

各回とも午前10時30分
集合、午後2時解散
現地集合、現地解散
参加費無料



お申込み、お問い合わせは
たけまさ事務所まで



第235回たけまさ公一と語る会

3月22日(土)15時30分～17時

【会場】 埼玉会館6B会議室 【参加費】 無料
「外交安保の現状と課題」 ご参加お待ちしております。

その4 下水道管破裂道路崩落事故

1月28日に発生した、八潮市の下水道管破裂道路陥没事故は、「インフラ災害」というべき事故であり、特に、「流域下水道」に埼玉県が強く依拠していることを露呈し、全国のインフラの老朽化対策を印象付ける事故となりました。

引き続き、運転手の方の救出を求めます。2月12日までは、さいたま市緑区をはじめ中川流域下水道の13市町には排水自粛の依頼が埼玉県から行われました。

立憲民主党も、国土交通部門に道路陥没WTを立ち上げ、2月17日には、埼玉県庁に伊藤副知事からヒアリングを行いました。すでに、2月15日大野元裕知事から政府へ提出された要望書にある「流域下水道の在り方の検討」に取り組む必要性を私から指摘しました。

全国の、流域下水道、公共下水道の終末処理場の処理能力の上位10番目までのうち3か所は埼玉県です。流域下水道だけでみると上位3か所は埼玉県です。流域下水道は、自然流下（傾斜を利用して水を流す）ため、最終処分場では下水管の埋設場所が深くなり、点検が難しい等課題の大きな仕組みです。

これまで、そうした課題が放置先送りされていたとすれば、県会議員、衆議院議員として、私も「自らの不明を恥じる」ばかりです。2月13日の衆議院本会議の代表質問では、石破総理から「政府挙げての取り組み」とともに「6月にまとめるインフラ老朽化対策に今回の下水道事故を含める」との答弁を引き出しただけに、政府、埼玉県とともに「流域下水道のあり方」の見直しに取り組めます。

たけまさ(武正)公一 衆議院議員



1961年生まれ。うし年。B型。浦和区大東3丁目在住。妻と一女一男。木崎小・木崎中・浦和高校・慶應義塾大法学部政治学科卒業。松下政経塾出身。1995年埼玉県議初当選。2000年衆議院議員初当選、以後、外務・財務副大臣・衆院憲法審査会会長代理を歴任。



第9回立憲1区カフェ&立憲民主党埼玉県第1区総支部総会

3月29日(土)14時～【会場】 埼玉会館2階ラウンジ
党員、協力党員、パートナーズに加え、どなたでも参加お待ちしております。

立憲民主党埼玉県第1区総支部 衆議院議員たけまさ公一事務所

〒330-0074
さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2F
TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846 voice@takemasa-k.jp

たけまさの政策や実績、最新のイベント案内、たけまさ日記など、様々な情報を発信中！**たけまさ**で検索！

takemasa-k.jp

たけまさ公一公式サイト

